

2025年度下半期麗澤大学後援会学生表彰について

後援会学生表彰の受賞者および受賞団体が以下のとおり決定し、表彰式が執り行われました。受賞者の皆様にお祝いを申し上げるとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。



表彰式の様子

1. 賞と副賞、推薦件数

		外国語	国際	経済	経営	工学	横断型	合計
後援会長賞 (5万円)	個人	-	-	-	-	-	-	-
	団体	-	-	-	-	-	-	-
後援会賞 (3万円)	個人	-	1	-	-	-	-	1
	団体	-	-	-	-	-	-	-
後援会奨励賞 (1万円)	個人	2	-	1	-	-	-	3
	団体	-	1	1	-	-	3	5
合計		2	2	2	-	-	3	9

※ (-) : 該当なし

※横断型：学部を超えた取組み・活動

2. 賞の候補

【後援会賞】

学部		氏名・団体名	活動	推薦理由（推薦書から抜粋）
国際	個人	横山 裕太郎	課外活動	国際競技連盟 I.K.O. MATSUSHIMA が主催する国内外の厳しい選考を経て選抜された選手のみが出場できる極めて競技レベルの高い国際大会である「第6回世界ウエイト制極真空手選手権大会」に、日本代表選手として出場しました。

【後援会奨励賞】

学部		氏名・団体名	活動	推薦理由（推薦書から抜粋）
外国語	個人	田中 美鈴	課外活動	NP0 法人文化芸術教育支援センター主催舞台『あの群青は、今も続いている』に出演し、主要役である栗田節子を演じた。平和・社会貢献活動においても広島・長崎調査ゼミでは主導的役割を果たし、平和学習を実践的に展開しました。
外国語	個人	吉田 翔真	課外活動	成績優秀であり、イベント全体の運営スタッフの一員として、校舎ごとに多くのスタッフを配置してまとめる「フロアリーダー」も務め、将来的には、現在約 150 名いる学生アドバイザー全体をまとめる「統括リーダー」をも目指して、熱心に広報活動に協力しています。
国際	団体	『Reitaku Now!』編集部 (モーガンゼミ生)	社会貢献	『ちいき新聞』の編集者、広田瑞穂さんにサポートをうけ、キャンパスペーパー第一号を出版しました。2026 年 1 月に、キャンパスペーパーの第二号に当たる、『Reitaku Now!』の 2026 春の号が出版される予定です。
経済	個人	生井 侑佑哉	学術研究	会計・統計・金融・情報といった複数分野にまたがる専門知識が求められる資格試験において、計画的かつ継続的な学修を通じて顕著な成果を挙げました。日商簿記検定試験 1 級・統計検定 2 級・ファイナンシャル・プランニング技能士 2 級、さらに情報リテラシーと情報システムの基礎理解を問う IT パスポート試験にも合格しました。
経済	団体	小高ゼミ	学術研究	内閣府主催の『地域創生☆政策アイデアコンテスト 2025』において、グループメンバーが結し、「みらい工房 Meta Reverse」と題した政策案を立案・応募し、惜しくも最終的な受賞は逃しましたが、激戦となる第一次審査を見事に通過し、その質の高さが公的に評価されました。
横断型	団体	自主企画ゼミナール「アフリカを学ぶ, アフリカから学ぶ」	学術研究	TICAD9 公式パートナーイベント「Young Africa Connect 2025/AfriCampus 2025」にて絵本読み聞かせや仮面制作、ビサップジュース販売など五感を活かした発表を行い、国内外 13 機関の中で際立った存在感を示し、他大学からの招聘や取材も受けるなど模範的活動となっています。
横断型	団体	旧広瀬小学校活用プロジェクト	社会貢献	本プロジェクトは、廃校となった旧広瀬小学校を拠点に、学生が主体となって地域と協働し、学びと交流の場を創出してきた継続的な取り組みで、2025 年 7 月には高島市と麗澤大学との包括連携協定が締結されるに至りました。
横断型	団体	ホームカミングデイプロジェクト	社会貢献	2 年前に麗澤大学の「ホームカミングデイ (HCD)」を復活させ、本年 6 月 21 日 (土) には、廣池学園創立 90 周年記念セレモニーを皮切りに、約 310 名の在校生・卒業生・教職員が集う HCD を実施しました。